

(様式2)

放射線等に関する教育実践事例

学校番号・学校名	〈小・17〉 いわき市立大浦小学校														
〈実施日〉	平成 27 年 11 月 20 日 (木)														
〈実践教科等〉	※当てはまる番号に○を付けてください。4は()に教科等を入れてください。 1 理科 ② 学級活動 3 総合的な学習の時間 4 その他 ()														
〈実践内容〉	1 各学年の実践														
	<table border="1"><thead><tr><th>学 年</th><th>実践内容・活動</th></tr></thead><tbody><tr><td>1 年</td><td>放射線って何だろう (副読本 P 3 ~ 6) を読んで知る。</td></tr><tr><td>2 年</td><td>放射線って何だろう (副読本 P 3 ~ 6) を読んで知る。</td></tr><tr><td>3 年</td><td>放射線はどのように使われているのか (副読本 P 7 ~ 8) を読んで知る。</td></tr><tr><td>4 年</td><td>放射線を受けるとどうなるの (副読本 P 9 ~ 10) を読んで知る。</td></tr><tr><td>5 年</td><td>放射線を受けるとどうなるの (副読本 P 11 ~ 12) を読んで知る。</td></tr><tr><td>6 年</td><td>放射線はどうやって測るの (副読本 P 13 ~ 16) を読んで知る。 放射線から身を守るには</td></tr></tbody></table>	学 年	実践内容・活動	1 年	放射線って何だろう (副読本 P 3 ~ 6) を読んで知る。	2 年	放射線って何だろう (副読本 P 3 ~ 6) を読んで知る。	3 年	放射線はどのように使われているのか (副読本 P 7 ~ 8) を読んで知る。	4 年	放射線を受けるとどうなるの (副読本 P 9 ~ 10) を読んで知る。	5 年	放射線を受けるとどうなるの (副読本 P 11 ~ 12) を読んで知る。	6 年	放射線はどうやって測るの (副読本 P 13 ~ 16) を読んで知る。 放射線から身を守るには
学 年	実践内容・活動														
1 年	放射線って何だろう (副読本 P 3 ~ 6) を読んで知る。														
2 年	放射線って何だろう (副読本 P 3 ~ 6) を読んで知る。														
3 年	放射線はどのように使われているのか (副読本 P 7 ~ 8) を読んで知る。														
4 年	放射線を受けるとどうなるの (副読本 P 9 ~ 10) を読んで知る。														
5 年	放射線を受けるとどうなるの (副読本 P 11 ~ 12) を読んで知る。														
6 年	放射線はどうやって測るの (副読本 P 13 ~ 16) を読んで知る。 放射線から身を守るには														
2 効果のあった実践例 (6年生)	<p>○ 児童の実態 本校の6年生は、1年生の時に原発事故を経験し、放射線については霧箱の観察や実際に校庭を図る活動を通して学習し、理解している。しかし、保護者の関心が高く、過敏になっている子や、その知識がテレビから得られたものである子、さらには関心の薄れてしまっている子等様々である。そのため、放射線の知識にも差があり、どのようなものから放出されているのか、どんなところに溜まりやすいのか、線量が高いのか等、正しく理解している子は少ない。そこで、放射線についての理解を深めるために、その測り方や身を守るための対策など、正しい理解を深める指導を行った。</p> <p>○ 実践内容 資料 ・小学生のための放射線副読本 放射線について考えてみよう ・小学生のための放射線副読本 放射線について学ぼう 文科省 ・放射線ってなあに? 科学技術振興機構</p> <p>指導の実際 (1) 放射線ってなあに (前学年までの既習内容の復習) (2) 放射線の測り方について (3) 放射線から身を守るには? 事故の時に身を守るには 事故が起こった時の心構え</p>														
〈成果〉	○ 指導が断続的であるので再度前年度までの内容を確認したことで、身近なところに放射線は存在し、有効に利用すれば健康に過ごす重要な要素の一つであること、必要以上に怖がったり、心配したりすることはない点に気付くことができた。														
〈課題〉	<ul style="list-style-type: none">● 正しい情報を収集することが必要と思われる。理解が難しいものが多く、低学年でも理解できるテキスト等が欲しい。● 学級活動の内容なので、担任に任されている点も多い。正しく理解させるために、各学年、系統立てて継続して指導する細かい計画を作成していく必要がある。● 子どもたちだけでなく保護者への啓発が必要である。●														
資料作成担当者職 (教諭) 氏名 (高野 朋恵)	学校電話番号 (32-2401)														

